

事務事業評価表 平成25年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実  
 基本事業 教育内容の充実

事業名 **校外学習推進事業**

[0396]

|    |               |        |      |          |      |
|----|---------------|--------|------|----------|------|
| 部名 | 教育部           | 事業開始年度 | - 年度 | 実施計画事業認定 | 非対象  |
| 課名 | 学校教育支援室 学校教育課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分     | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 |  |
|------------|--|
| 対象         | <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>スキー授業を受ける小中学校児童生徒</p>   |
| 意図         | <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>当市にスキー場が無い事に鑑み、スキー授業実施に係るバス借上料の助成を行い、保護者の負担軽減を図る。</p> |
| 手段         | <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>学校単位で行うスキー授業のうち、1回分のバス賃借料を負担する。</p>                             |

| 事業量・コスト指標の推移          |                    |           |              |              |              |               |
|-----------------------|--------------------|-----------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 区分                    |                    | 単位        | 22年度実績       | 23年度実績       | 24年度実績       | 25年度当初        |
| 対象指標1                 | スキー授業を受ける小中学校児童生徒数 | 人         | 6,562        | 6,391        | 6,280        | 9,503         |
| 対象指標2                 |                    |           |              |              |              |               |
| 活動指標1                 | 借上したスキーバスの台数       | 台         | 181          | 177          | 176          | 195           |
| 活動指標2                 |                    |           |              |              |              |               |
| 成果指標1                 | スキー授業に参加した児童生徒の延人数 | 人         | 6,562        | 6,391        | 6,280        | 6,273         |
| 成果指標2                 |                    |           |              |              |              |               |
| 単位コスト指標               |                    |           |              |              |              |               |
| 事業費計 (A)              |                    | 千円        | 6,283        | 6,508        | 7,207        | 9,141         |
| 正職員人件費 (B)            |                    | 千円        | 806          | 803          | 1,603        | 1,611         |
|                       |                    |           |              |              |              |               |
| <b>総事業費 (A) + (B)</b> |                    | <b>千円</b> | <b>7,089</b> | <b>7,311</b> | <b>8,810</b> | <b>10,752</b> |

| 費用内訳 |                  |
|------|------------------|
| 24年度 | 使用料及び賃借料 7,207千円 |

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

### 24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

体育授業の一環である「スキー授業」を行うにあたり市内にスキー場がないので、バスを借り上げてスキー場まで行くことは必要不可欠であるため。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

設備の整った（授業のためのよい環境にある）スキー場を利用することは、学習成果が高く、効果的なスキー授業を行うために必要であるから。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

学校が希望するゲレンデの利用がほぼ満たされているため。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

1回分のバス賃借料の負担が軽減されているが、スキー授業全てのバス賃借料の負担を軽減することは、財政上難しいため。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

近場（札幌、岩見沢近郊のスキー場）に行き先を限定し、コストダウンを図った（H15年度から実施）。